

マイクロカプセル香料と環境問題

柔軟剤や洗剤などに使われる「マイクロカプセル香料」は、香りを長持ちさせる技術として広く使われています。

同時にマイクロカプセル香料が環境中に残留する可能性や河川などへの影響についても研究が進められています。

マイクロカプセル香料とは何か

マイクロカプセル香料とは、香料を微小なカプセルに包み込む技術です。衣類の摩擦などでカプセルが壊れ、少しずつ香りを放出することで、香りを放出させます。



香り成分が空気を通して商品に付くイメージ

- マイクロカプセルの特徴
- 直径は数マイクロメートルの微小なプラスチック粒子
- 物理的刺激（摩擦など）で壊れ、香料が徐々に放出
- 香りが長期間続く

環境中に残留する可能性

研究では、柔軟剤から流れ出たマイクロカプセルが環境中に残留する可能性が示唆されています。

- 例として：マイクロプラスチック粒としての指摘
- 下水処理で完全に除去されない場合があることも指摘されています

現時点ではデータが十分とは言えず、継続的な研究と慎重な対応が求められます。

研究と規制の現状

現時点では、マイクロカプセル香料の環境への影響などについて、完全に結論づけられる段階にはありません。研究データの蓄積と、必要に応じた対応が求められています。

海外ではこの問題への対応として、病院・学校・職場などで強い香りの製品を控えるよう呼びかける方針 Fragrance-Free Policy（フレグランスフリーポリシー）を導入する施設が増えています。